



水稻生育期の管理作業(前編)



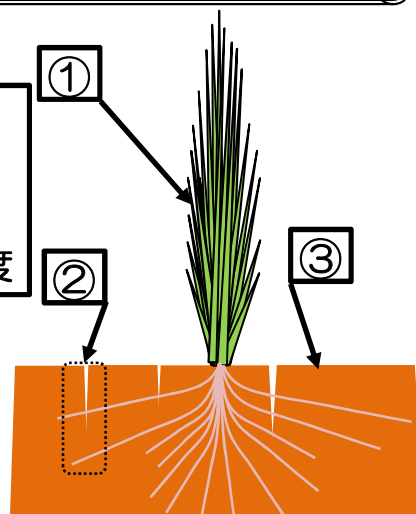
(水管理、雑草・病害防除を抜かりなく行いましょう！)

1. 中干し～適度な「渴水」で健全な水稻に～

＊ポイント

- ①開始は莖数20～22本/株となった頃
- ②田面のヒビは幅1cm程度
- ③干し加減は、踏むと田面に軽く足跡が付く程度

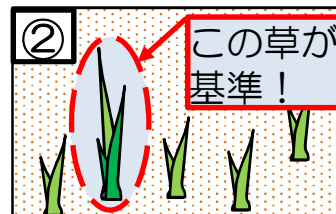
- ・強過ぎる中干しは根を傷めます。水稻の生育に応じた干し加減としましょう。
- ・中干しの期間は5～7日間です。期間が過ぎたら間断灌水に戻しましょう。



2. 水稻生育期の雑草対策～草種に応じ、時期を逃さず的確に～

＊ポイント

- ①残っている草種の確認
- ②散布時期の判断は、生育の進んでいる雑草を基準に



- ・除草剤を散布する場合は、収穫前日数に注意してください。

3. 病害防除～発生しやすい条件に注意！～

＊いもち病(葉いもち)防除のポイント

- ①低温・多湿・多雨・肥料過多・冷水により多発
- ②防除薬剤(発生しやすい天候時) コラトップ粒剤5、豆つぶ等(葉に病斑が出た場合) ブラシン水和剤・粉剤DL等
- ③圃場端に置かれた余り苗は速やかに除去

- ・葉いもちは穂いもちの発生につながります。的確に防除しましょう。

＊紋枯病防除のポイント

- ①高温・多湿・密植・植付本数過剰により多発
- ②前年発生した圃場は要注意(土中に菌核が存在)
- ③防除薬剤(出穂30日前～14日) モンカット粒剤等(株元に発生直後) モンカット水和剤・同ファイン粉剤DL等

- ・発生予防と早期対処により、収量・品質の向上を図りましょう。